



四国ブロック



発行人：阿波谷,大原,板東,川本,澤田
事務局 〒761-2103
香川県綾歌郡綾川町陶 1720-1
綾川町国民健康保険陶病院気付
副支部長/事務局長 大原昌樹・森田宛
Tel.087-876-1185 Fax.087-876-3795
E-mail oharamasaki@gmail.com

ニュースレター No.17 (2017.03)

★1 第33回高知臨床推論ケースカンファレンスに岸田 直樹先生を招聘

高知総合診療・病態診断研究会世話人 佐野内科リハビリテーションクリニック 佐野良仁
高知医療センター総合診療部長(高知県へき地医療支援機構 専任担当官) 澤田 努

■高知県支部の紹介

役員 5人で毎月勉強会をしながら、症例検討を重ねて臨床推論などの企画立案を行い、持ち回りで臨床推論ケースカンファを開催しています。今回、3月に下記の企画をしておりますので、報告させていただきます。

■高知県支部からのお知らせ

第33回 高知臨床推論ケースカンファレンス・総合診療医ドクターG in 高知
平成 29年 3月 11日 (土)

総合診療医・感染症医/感染症コンサルタント
一般社団法人 Sapporo Medical Academy (SMA)

代表理事 岸田 直樹先生

「見た目軽症、実は重症を見抜く！」

- ・岸田先生による講演
- ・岸田先生によるプチカンファ 2例
- ・症例提示

場所：高知赤十字病院・本館3階・第1会議室 時間：15時～18時

対象：医療系学生、研修医、医師、医療スタッフ
是非、お気軽にご参加ください！



★2 「第3回日本P C連合学会四国ブロック支部ポートフォリオ発表会&交流会 in Kochi」のご案内 (3月18日)

高知大学医学部家庭医療学講座 森尾真明 愛媛生協病院 原 穂高

去る平成 28年 11月 13日、松山で開催された平成 28年度四国ブロック支部総会において、今年度より四県持ち回りで「ポートフォリオ発表会」を定期開催することが確認されました。今年度は高知で下記内容にて開催されます。ポートフォリオを通じて、四国ブロック支部の専攻医・指導医らで交流できるような企画になればと考えています。また総合診療・家庭医療に興味のある方など、どなたでもご参加いただけます。みなさまのご参加お待ちしております。詳細、またお申し込みは下記 URL をご参照下さい。(http://urx.blue/BD0c)

【日程】2017年03月18日(土) 14:30~18:00(予定)

【場所】高知共済会館3F(高知県高知市本町5丁目3-20)

【対象】医学生・研修医・指導医、総合診療・家庭医療に興味のある方

【参加費】無料

【単位】日本プライマリ・ケア連合学会専門医・認定医更新のための単位：3単位



★3 SAKURA-GM カンファレンス 第一回「臨床推論×家庭医療」のみかたを開催

徳島大学総合診療医学分野 田畑良
徳島大学総合診療医学分野/徳島健生病院 大倉佳宏

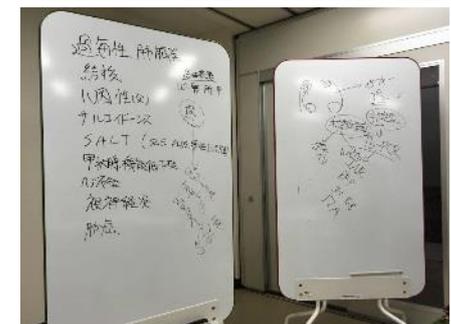
2017年2月4日に徳島大学医学部(蔵本キャンパス)スキルス・ラボにおいて、『SAKURA-GM カンファレンス 第一回「臨床推論×家庭医療」のみかた』を開催しました。家庭医療専門医の田畑・大倉の二人で講師を務め、3年生、4年生、臨床研修医の合計9名が集まり、少人数ながら活気あふれる会となりました。

まずは田畑が「36歳の咳嗽が続く患者」の症例提示を行い、「直観的思考」や「解剖×生理マトリクス」、「onsetによる病態の考え方」などの臨床推論に役立つ知識・Tipsなどのレクチャーを交えながら、参加者全員で鑑別診断を考えました。上級生や研修医が、まだ臨床講義をほとんど受けていない下級生に解説をしたりする場面なども見られ、和気あいあいとしながら、活発な議論を行いました。

その後、大倉が生物心理社会モデルと家族志向のケアについてレクチャーを行いました。レクチャーをした後に家族図を実際に書くグループワークを用意していたのですが、残念ながら時間切れ。次回に持ち越しとなってしまいました。

その後、居酒屋へ移動して懇親会。お酒も入りざっくばらんに大いに盛り上がりました。おかげさまで、参加者からは大変好評で、臨床推論と家庭医療を学ぶ勉強会は今後も続けてほしいと言われ(言わせ?笑)ましたので、第2回第3回と続けていきます。

総合診療専門医制度がもうじき始まります。地域医療実習などで地域の病院や診療所を見る機会もどんどん増えて、家庭医療や総合診療に興味がある学生は増えてきています。そういった学生がもっともっと総合診療や家庭医療の面白さを感じ、学べるような取り組みをこれからも続けていきたいと思えます。



★4 海外での地域医療貢献

愛媛大学大学院医学系研究科 地域医療学講座(愛媛) 川本 龍一

「Bangladeshでの医療活動」について

愛媛大学医学部東温市キャンパスにおいて、松山ベテル病院内科部長：宮川 眞一先生をお招きして海外での地域医療活動について講演を拝聴しました。先生は、神学部を卒業された後に改めて医学を目指され、卒業後Bangladeshにあるキリスト教系の医療施設で地域医療活動を7年にわたり行ってこられたという方です。

Bangladeshは発展途上国であり、貧富の差が大きいのが特徴です。

富裕層には先進国並みの医療が提供されているものの、貧困層にはそれが十分行き届かない中、感染症撲滅のための環境改善に取り組んでこられたということです。真に迫る具体的なお話は、国際貢献・医療活動を志す者には勿論のこと、一般学生にとっても勉強になる内容でした。海外、特に発展途上国での地域医療活動は、先進国である日本にとって重要な国際貢献につながる活動であり、今後もこうした機会を設けて、学生にも将来の選択肢として提示していきたいと思えます。



★5 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(高松大会)に向けて

四国ブロック支部事務局長・副支部長 大原昌樹

5月13～14日開催の第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(高松大会;板東浩大会長)が近づいて参りました。主要プログラムについては、ほぼ固まりました。海外招待講演、特別講演、メインシンポジウム2、シンポジウム18、教育講演9、学会ジョイントプログラム4、ワークショップ36、インタレストグループ15など多彩な内容となっています。

一般演題は、1月12日締切でしたが、数日前には予定の半分にも満たない応募数で心配しましたが、締切当日に一挙登録され、今度は、予定数をオーバーした560題余りとなりました。1月22日には査読委員会(委員長:川本副大会長)を開催しましたが、口演会場を増やしたり、一般演題の発表時間を1分短縮するなどして枠内におさまるように何とか調整しました。抄録が不備なものは再提出をお願いし、テーマ毎にセッションの区分をしました。その後、川本委員長を中心に座長を決めているところです。

この他、会場担当の澤田副大会長、懇親会担当の西村理事を中心に、ドリンクコーナーなどの会場設営や懇親会などの企画で、四国らしい楽しい企画を具体化しています。皆さまにおかれましては、当日、楽しみにしておいてください。また、早朝ジョギングも玉藻城から栗林公園までのルートで行いますので、シューズを用意して是非ともご参加ください。

宿泊については、一般的な宿泊予約サイトでの予約は、ほぼ満室の様子となっているようです。ただし、大会ホームページの中で「宿泊のご案内」という箇所がみられます。

このサイトから予約していただきますと、まだ空いているホテルが見つかりますので、どうかご利用ください。ここはJR高松駅を降りてすぐの便利な会場ですので、少し離れたところからでも通うことが可能です。

参加登録は、3月8日までが早期登録、3月9日～29日までが通常登録です。大会参加者は5000人を目標にしております。浅草大会の5700人よりやや低めに見積もっていますが、交通や宿泊の関係で達成は困難な状況です。四国ブロック支部の皆様は、特にご参加いただければと思いますし、他の地区からも大勢の皆様のご参加を是非ともお願いいたします。

<http://www2.c-linkage.co.jp/jpca2017/>

医師以外の職種や学生の参加も大歓迎ですので、引き連れて来ていただければと思います。最終コーナーを回りましたが、会員に役立つ充実した学術大会になるように努力しますので、皆さまのご協力・ご支援をよろしくお願いいたします。

なお、学術大会関連のホームページのアドレスは、<http://www2.c-linkage.co.jp/jpca2017/> となっております。ここにアクセスいただきますと、参加申込みやワークショップ事前登録なども含め、すべての情報を得ることができます。

★6 第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会(高松大会)について

第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会 大会長 板東 浩

四国ブロック支部を挙げて現在準備しております第8回日本プライマリ・ケア連合学会学術大会について、今まで長期間にわたり、皆さまに御世話になっており、御礼申し上げます。進行状況に関しまして、若干ではありますが、ご報告申し上げます。

一般演題の申し込みについては、口演およびポスターを合わせて、過去の大会で最も多い演題数となりまして、ほっと一安心しております。そして、大会におけるいろいろな検討および調整を行い、実行委員の先生方には手間も時間もかかる作業に対して、誠にありがとうございます。引き続き、よろしくお願い申し上げます。

なお、学術集会および関連の企画は、5月12,13,14日の3日間に行われ、現在詳細までいろいろと検討を進めております。5月12日(金)には、11時30分から20時まで、バラエティに富むワークショップが企画されていますので、是非とも申込みください。13日(土)は8時45分からプログラムが始まり、夜には懇親会があります。14日(日)には、8時から社員総会があり、午後まで魅力あるプログラムが満載されています。

なお、プログラムの概要について、上記学術大会ホームページにて公開しております。引き続き、大会に向けて、なにとぞよろしくお願い申し上げます。

★7 2017年日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部学術大会の予定

高知県支部 大会長：佐野良仁、副大会長：澤田努 他

2017年日本プライマリ・ケア連合学会四国ブロック支部学術大会は、高知県が担当であり、現在のところ、下記のように行う予定となっております。まずは日程をお知らせいたします。

記

日時 平成 29年 11月 18日 (土)・19日 (日)
場所 高知医療センター2階 くろしおホール
日程 第1日目：11月18日(土)は1400から予定
第2日目：11月19日(日)は昼過ぎに終了予定

4年前から、研修医や医学生の参加の上、臨床推論ケースカンファレンスを開催しております。今年も行う予定となっておりますので、医学生・研修医の先生方も、奮ってご参加ください。

なお、本大会の詳細につきましては、また決定し次第、報告させていただきます。

